

令和2年度 学校評価 教職員自己評価

中野区立桃園第二小学校

★評価方法について

4…十分達成できた 3…ほぼ達成できた 2…達成できているとはいえない 1…まったく達成できていない
 → 2、1の評価となった項目については、改善策を記入する。

	項目	評価の観点	4	3	2	1	0	改善策
①教育目標	教育目標	・児童の実態把握が適切であり、保護者、教職員の願いに即しているか。 ・重点目標「考える子」の達成に教育活動全般を通して努めていたか。	13.3%	86.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
②各教科	主体的・対話的	児童が、「自分の考えをもち」「言葉や図等で表現し」「友達や大人と対話し」「考えを深める」学習を進めたか。	6.7%	80.0%	0.0%	6.7%	6.7%	感染症予防の観点で対話の機会が減っているため、コミュニケーションをとり方を考えたい。
	思考・判断・表現する力	学習のめあて、学習問題を明確にし、その達成や解決に向けて、見通しを立てて問題解決に取り組む授業を毎回実践したか。	21.4%	71.4%	0.0%	0.0%	7.1%	
	個に応じた指導	習熟度別少人数指導、学習指導支援員の効果的な活用、算数道場の運営等を通して、個に応じた指導の充実を図り、児童に確実な学力を付けさせたか。	6.7%	86.7%	0.0%	0.0%	6.7%	
	体験的な学習	体験的な学習の中で人や物とかかわる力、見て、聴いて、感じる力を育てているか。	6.7%	40.0%	46.7%	0.0%	6.7%	感染症予防の観点で体験学習が減っているが、できる限り体験の機会を保障したい。ICT機器を活用し、改善していく。
	情報活用	書物やインターネット等を利用して情報を得る方法、筋道を立てて問題解決の方法を理解する学習を実践しているか。	20.0%	53.3%	20.0%	0.0%	6.7%	PCを使った、情報を得る方法を理解する学習を今後取り入れる。
	体育科の授業	子どもが安心して取り組める魅力ある運動を開発して体育科の授業改善に取り組んだか。	13.3%	40.0%	20.0%	0.0%	26.7%	
	評価	中野区・東京都・全国各学力調査の結果を分析し、指導と評価の一体化を図りながら、児童の学力向上に取り組んでいるか。	0.0%	66.7%	13.3%	13.3%	6.7%	学力調査を実施していないため、結果の分析に至っていない。学力調査を行っていない。MIMやT式の結果は、生かしながら学力向上につなげている。
	基礎的・基本的な知識・技能の定着	音読学習、学校図書館や地域図書館と連携した読書活動を推進したか。作文、日記、お礼の手紙等、日常的に書く機会を増やしたか。東京ベーシックドリルを徹底活用したか。	6.7%	53.3%	13.3%	0.0%	26.7%	日記と作文の指導をこれからしていく。
	家庭との連携	7月・12月の家庭学習推進旬間を活用して、児童が自主的に家庭学習を進める姿勢を身に付けていくよう指導できたか。	6.7%	53.3%	0.0%	6.7%	33.3%	
③道徳	道徳の時間	年間指導計画に基づく計画的な指導を行うとともに、多様な指導法を工夫することができたか。	6.7%	53.3%	6.7%	0.0%	33.3%	
	道徳性の育成	低学年は「基本的な生活習慣や善悪の判断を身に付ける」、中学年は「集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合う」、高学年は「他者との人間関係や社会とのかわりに目を向け、相手の立場を理解し支え合う」ことに重点を置き、指導スタイルが明確なか。	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
	道徳授業地区公開講座	「道徳授業地区公開講座」の内容を工夫し、道徳教育に対する家庭・地域社会との共通理解を一層深め、相互連携を推進することができたか。	26.7%	46.7%	6.7%	0.0%	20.0%	
④外国語活動	外国語活動	ALTなどを効果的に活用し、外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図ることができるように指導することができたか。	13.3%	53.3%	0.0%	0.0%	33.3%	
	国際理解教育	ALTの授業を実施することを通して、1～4年生の児童も外国語に慣れ親しませることができたか。	20.0%	46.7%	0.0%	0.0%	33.3%	
⑤総合的な学習の時間	総合的な学習の時間	各教科・領域との関連を図りながら、本校の地域の実態や、特性を生かした教材の開発、指導方法の工夫を図ることができたか。	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	33.3%	
⑥特別活動	学級活動	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、学級の一員としてよりよい生活づくりをしようとする自主的、実践的な態度を育てることができたか。	20.0%	40.0%	13.3%	0.0%	26.7%	
	児童会活動	委員会活動やたわり班活動などを通して、自らすすんで他者のために行動できる児童を育成することができたか。	13.3%	80.0%	6.7%	0.0%	0.0%	
	クラブ活動	児童の興味・関心や自主的運営を大切に、よりよい人間関係を築くことができたか。	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%	6.7%	
	行事	平素の学習活動の成果を発表する場として、子どもたちが目標をもって取り組み、達成感・成就感を抱けるよう、意図的・計画的に指導したか。	6.7%	60.0%	20.0%	0.0%	13.3%	ICT機器を活用し、改善していく。
	遠足 校外活動	見聞を広め、自然や文化などに親しみ体験を積むと同時に、集団生活での行動の仕方、公共の場での公衆道徳を理解し、実践できるように指導したか。	7.1%	28.6%	21.4%	28.6%	14.3%	コロナ禍のため、自粛中。
	儀式的行事	厳粛で清新な気持ちで臨み、生活に有意義な変化と折り目を付ける場として、心と態度を指導したか。	14.3%	71.4%	7.1%	0.0%	7.1%	
⑦生活指導	基本的生活習慣の確立	「桃二スタンダード」を活用し、きまりを守って集団生活を送ろうとする態度を育てることができたか。	6.7%	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	安全教育	セーフティ教室を始めとした安全教育、防犯・防災教育に積極的に取り組み、児童に危機管理能力などの安全な生活習慣や態度を身に付けさせることができたか。	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%	6.7%	
	いじめ防止	「桃二あんげんデー」の取組は、教員の安全管理への意識を高め、保護者・地域に学校の安全指導への取組に対する理解を深めることができたか。	6.7%	80.0%	6.7%	0.0%	6.7%	
	不登校防止	生活指導主任・学年主任を核とした組織対応、夕会・生活指導夕会における情報と課題の迅速な共有、いじめ防止アンケートの隔月実施、いじめ防止対策委員会の毎月実施 できたか。	26.7%	66.7%	0.0%	0.0%	6.7%	
	虐待防止	「欠席1日目の電話連絡」「2日目の本人との対話」「3日目の家庭訪問」を確実に実施したか。	26.7%	46.7%	6.7%	0.0%	20.0%	
	教育相談体制	「児童虐待」の早期発見や、発見した後の対応について、組織的かつ迅速・適切な対応を行うことができたか。	13.3%	80.0%	0.0%	0.0%	6.7%	
⑧進路指導	進路指導	発達段階に応じて、適切な職業観や勤労観を養うためのキャリア教育を推進し、生活にわたる生き方について学ばせることができたか。	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	キャリア教育を各教科で効果的に取り入れていく。
	人権教育	「自分も人も大切にする児童の育成」を目指し、教育活動全体を通して、児童の発達段階に応じ、人権感覚を養う取組を行うことができたか。	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%	0.0%	
	異学年交流	たわり班活動を中心とした異学年交流を通して、児童同士が温かい思いやりのある言動をとれるよう指導することができたか。	6.7%	80.0%	6.7%	6.7%	0.0%	今後の縦割り班活動に向けて指導していく。
⑨特色ある教育活動	外部教育力の活用 地域連携	児童・教職員による町会や地区の青少年健全育成委員会などの地域行事への積極的な参加を進め、子どもたちの健全育成に、学校・保護者・地域が一体となって取り組むことができたか。	7.7%	53.8%	30.8%	0.0%	7.7%	地域行事の連絡が入り次第、推進していく。
	小中連携教育	オープンキャンパス・乗り入れ指導等を中心とした小中連携教育を進め、学習規律や生活規律など、児童が中学校進学にあたって身に付けさせておくべき力について学校間で情報を共有し、協力して教育活動に取り組むことができたか。	0.0%	60.0%	20.0%	6.7%	13.3%	

令和2年度 学校評価 教職員自己評価

中野区立桃園第二小学校

★評価方法について

4…十分達成できた 3…ほぼ達成できた 2…達成できているとはいえない 1…まったく達成できていない
 → 2、1の評価となった項目については、改善策を記入する。

	項目	評価の観点	評価の観点					改善策
			4	3	2	1	0	
①オリ・パラ教育	学習活動	総合的な学習の時間や体育科の授業を中心として、オリンピック・パラリンピックの歴史や理念について、資料や映像などを活用した学習を十分実施することができたか。	0.0%	42.9%	21.4%	14.3%	21.4%	今後のオリパラ活動に絡めた学習を進める。後期は単元のはじめなどに取り入れる。
	環境整備	児童がスポーツや運動に親しみ、体力の向上を図れるように、日常的に運動に親しめる校内の教育環境の整備を進めることができたか。	0.0%	78.6%	0.0%	0.0%	21.4%	
	家庭・地域との連携 外部指導力の活用	保護者や地域の方々や協力し、地域におけるスポーツ活動を通して、様々な体力向上につながる取組を進め、スポーツ選手等による特別授業や授業支援を進めたか。	6.7%	33.3%	26.7%	13.3%	20.0%	コロナ禍のために自粛していたが、予定が組めたので実施していく。今後取り入れていく。
②特別支援教育	特別支援教室	巡回指導教員や特別支援教室専門員と連携し、特別支援教室の機能を効果的に活用することができたか。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	校内委員会	特別な支援が必要な児童の対応について学校としての方針を明確にするなど効果的に運営し、機能を果たすことができたか。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	校内研究・研修	特別支援教育についての理解を深め、一人一人の子どもを大切に児童理解に基づいた特別支援教育、ユニバーサルデザインの授業と学級経営を実践したか。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
③年間授業日数・時数	日数・時数	年間授業日数・年間授業時数が適切に設定されているか。	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
	時程	生活時程・週時程が適切に設定されているか。	50.0%	43.8%	0.0%	0.0%	6.3%	土曜時程での1時間目8:15 スタートは登校一朝の支度を考えるとかなり厳しいように感じました。
	時間割	時間割が適切に組まれているか。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
④健康教育・食育	健康教育	保健指導が適切に行われているか。	46.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	食育	給食指導・食育が適切に行われているか。	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑤経営・組織	事案決定	事案決定システムが確立され、伝達などの効率化が図られているか。	6.7%	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
	職員会議	職員会議が適切に行われているか。(回数・内容等)	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	校務分掌	校務分掌の分担、進行、連絡・調整などが適切に行われているか。	20.0%	73.3%	6.7%	0.0%	0.0%	
	委員会・部会	各種委員会・部会のもち方、分担、進行、連絡・調整などが適切に行われているか。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑥研究・研修	校内研究・研修	校内研究・研修が効果的に行われているか。(校内研究、その他の研修)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	校外研修	校外における研修が周知され、授業力向上に役立っているか。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%	感染症予防の観点で、例年より研修の機会が減っているため
	OJT	OJT研修が、計画的、効果的に行われているか。	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	ICTや授業の組み立てなどのOJTが有効だった。
⑦情報	ICT関連	情報処理の計画・組織、情報活用・保護などが適切に行われているか。(ホームページ作成、視聴覚、ICT機器の管理・活用、データ管理など)	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
	文書管理	公文書・諸表簿等の整理・管理が適切に行われているか。(通知表、出席簿、要録の保管ルールなど)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
⑧出納・経理	予算	予算編成・執行が適切に行われているか。	33.3%	60.0%	0.0%	0.0%	6.7%	
	私費会計	私費会計の徴収、支払い等が適切に処理されているか。	40.0%	53.3%	0.0%	0.0%	6.7%	
⑨開かれた学校	交流活動	地域の保育園、幼稚園、高齢者グループ等との交流が効果的に行われているか。	6.7%	33.3%	13.3%	33.3%	13.3%	コロナ禍のために実施を自粛中。感染症予防の観点で、例年より交流が少ないため
	学校公開	保護者、地域にとって、学校公開が教育活動への理解を深める場になっているか。	6.7%	53.3%	6.7%	26.7%	6.7%	コロナ禍のため実施を自粛中。
	広報活動	学校の広報活動が効果的に行われているか。(教育活動などの地域への発信・周知、学校だより、ホームページなど)	56.3%	37.5%	0.0%	0.0%	6.3%	HPのアップの仕方が誰でも分かるようにしたい。